

【NGO 三番瀬のラムサール条約登録を実現する会】

記入日：平成28年4月20日

【団体の概要】

私たちはできるだけ多くの市民、企業、大学、行政などに参加を呼びかけ、東京湾に僅かに残された三番瀬の豊かな自然環境を保全するため、ラムサール条約に登録することを目的として活動しています。

具体的にはラムサール条約登録実現に向けて、年間行動計画をもとに勉強会、観察会（ふなばし三番瀬海浜公園）、シンポジウム、写真展、三番瀬食文化出前講座等を開催しています。また皆様の声を署名用紙に託して署名活動（千葉県に14万筆提出済）もしています。



【保育園出前授業】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：128,626円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

事業内容として、船橋市内の保育園で魚の現物、水槽とタッチプールとお絵かき、魚の解剖をしました。給食でのあら汁や唐揚げにして食しました。

市内のイベントでは漁港の朝市、ふなばし環境フェア、海老川親水市民まつり、御菜浦・三番瀬ふなばし港まつり等に参加して、「東京湾に沢山の種類の魚・生き物があるか？」を自分達の目で確かめてもらいました（水槽の中にいる生き物の観察、タッチプールではアカエイ、ドチザメ、コモンカスベ等の珍しい魚を触ってもらいました）。三番瀬・東京湾の干潟の特徴と役割を理解していただくようにアサリや牡蠣の水質浄化作用の実験をしました。

■支援金の支出内容

それぞれの出前授業（19回）での水槽やタッチプール展示等に必要なビニールプール、水槽やインク、コピー用紙、写真用品費等の消耗品費や原材料費（魚代等）、講師への謝金に支援金を支出しました。又、出前授業に必要なパネルを作成しました。

支援金により、多くの事業と、スケールの大きな事業を行う事が出来ました。



【ふなばし港まつりに参加水槽展示】

■事業の成果と今後の展望

スタッフ不足のために、船橋市内の保育園しか出前授業が出来ませんでした。それは当団体の基盤を強化することが第一だと思いました。「江戸前の魚を知ろう！」では座学と魚それぞれの特徴を活かした簡単な調理を参加者で考えて行ったのが良かったです。

市内のイベントで出前授業をした事により多くの市民が五感で、自然豊かな海・三番瀬の重要性と三番瀬は都市型漁業が今でも営まれる宝の海であることを実感していただき、団体の目標の実現に向けての地道な活動であることを実感しました。

■問い合わせ先：事務局 渡辺優子（わたなべ ゆうこ）

TEL：047-422-0772

E-mail：yuko-lapislazzuli25@nifty.com